

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

② 保健衛生事務費（健康推進課）

- 1 保健師、栄養士活動に必要な各種研究会、研修会に参加した。
- 2 各種保健予防事業を遂行するに当たり、事務局担当として、乙訓2市1町及び(社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を開催した。

乙訓2市1町と(社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回

乙訓2市1町と(社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 2回

乙訓保健予防行政事務協議会 13回

乙訓保健事業運営委員会 15回

- 3 「向日市食育推進計画」に基づき、管理栄養士を1名雇用し、各種取組を行った。

(1) 食育講座の開催

テーマ	参加者数
食育講座「これでいいのか食生活」	42 人

- (2) 食育啓発用の紙芝居、エプロンシアターの貸出し
- (3) 向日市まつりに「食育コーナー」を設け、「向日市における食育の取組」を紹介したチラシの配布などの啓発活動を行った。
- (4) 歯のひろばで「食育コーナー」を設け、啓発活動を行った。
- (5) 乳幼児健診、離乳食教室、マタニティクッキング、健康相談等で、栄養指導・相談を行った。

③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業、在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況 (単位：人、%)

診療日数 70日	合計	年齢別内訳				病類別内訳				居住地別内訳				
		0～5歳	6～15歳	16歳以上		呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数	4,833	2,070	1,347	1,416	3,354	866	20	593	1,173	2,335	326	836	163	
構成比	100.0	42.8	27.9	29.3	69.4	17.9	0.4	12.3	24.3	48.3	6.7	17.3	3.4	

2 在宅外科当番医制事業利用状況 (単位：人)

診療日数 70日	外科受診者数	年齢別内訳				住所別内訳			二次後送の人数
		0～6歳	7～15歳	16～64歳	65歳以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	306	59	39	141	67	92	187	27	3
1日平均	4.4	0.8	0.6	2.0	1.0	1.3	2.7	0.4	

実施医療機関実数：25施設（診療所20、病院5）

実施医療機関延べ数：70施設（診療所24、病院46）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

(単位：人)

居住地区分	入 院					入 院 合 計	外 来					外 来 合 計	総 計	
	内 科	小児科	外科	脳外科	その他		内 科	小児科	外科	脳外科	その他			
乙訓 市	向日市	13	5	8	1	4	31	66	160	49	4	34	313	344
	長岡京市	17	10	1	2	6	36	62	191	87	8	61	409	445
	大山崎町	3	1	2	0	1	7	18	26	10	4	6	64	71
京 都 市		386	130	140	30	97	783	1,324	2,061	921	56	220	4,582	5,365
そ の 他		60	9	20	8	23	120	207	171	137	20	47	582	702

4 地域医療関係事業

乙訓地域における救急医療を啓発・推進するために、乙訓2市1町、(社)乙訓医師会、乙訓消防組合、乙訓保健所等が共催で、毎年事業を行っている。平成元年度からは、テーマを決めて講演会を行っている。

(1) 救急医療関係事業（乙訓救急フェア）

講演テーマ：保護者に知ってもらいたいこと

参加人数：59人

(2) 救急医療懇話会

前述機関に加えて、乙訓地域で救急患者を受け入れる病院の代表者も加わり、乙訓地域における救急医療の情報交換や災害時の救急医療に関する意見交換を行った。

④ 献血推進対策費（健康推進課）

市内5会場において、献血運動を行った。

実施回数	来所者数	採血者数	200ml 献 血	400ml 献 血
14回	384人	314人	5人	309人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センター（昭和58年度開設）の運営に伴う維持管理に要する経費を執行した。保健センターは、平成14年10月から子育てセンター「すこやか」と家庭児童相談室、更に平成15年度からファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて4部門が共用する多機能施設となっている。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリー サポート センター	家庭児童相談室
事業開催回数	101回	300回	25回	18回	
延べ参加者数	3,749人	7,495人	1,079人	299人	164人
会議・研修会 等の開催回数	5回	7回	18回	23回	6回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

① 感染症対策費（健康推進課）

1 定期予防接種

予防接種法に基づく定期予防接種（BCG・ジフテリア・百日せき・破傷風、急性灰白髄炎、麻しん・風しん、日本脳炎）を実施した。

(1) 集団接種

種 別	対 象	通 知 者 数	実 施 実 人 数	接 種 率
急性灰白髄炎 (ポリオ)	平成21年11月1日～ 平成23年4月30日生	1,020 人	909 人 うち1人は依頼書により他市で接種	89.1 %
BCG	平成22年12月13日～ 平成23年11月30日生	486	478 人 うち4人は依頼書により他市で接種	98.4 %

(2) 個別接種

種 類	対 象 者	対 象 者 数	接 種 者 数	接 種 率	
三種混合	1 期初回	平成22年11月1日生～平成23年10月31日生	延べ1,440人	1,578 人	109.6%
	1 期追加	平成21年12月1日生～平成22年11月30日生	480	445	92.7%
	2 期	平成11年4月2日生～平成12年4月1日生	565	485 (うち2人は依頼書により他市で接種)	85.8%
麻しん風しん 第1期	平成21年4月1日生～平成22年3月31日生	501	457 (うち1人は依頼書により他市で接種)	91.2%	
麻しん風しん 第2期	平成17年4月2日生～平成18年4月1日生	529	509 (うち1人は依頼書により他市で接種)	96.2%	
麻しん風しん 第3期	平成10年4月2日生～平成11年4月1日生	538	476 (うち1人は依頼書により他市で接種)	88.5%	
麻しん風しん 第4期	平成5年4月2日生～平成6年4月1日生	478	400 (うち1人は依頼書により他市で接種)	83.7%	
			高校2年生 22	接種率に含まず	
日本脳炎第1期	3歳～7歳半未満 通知対象者： 平成19年4月2日生～平成20年4月1日生	495	3,111 (うち13人は依頼書により他市で接種)	—	
	特例対象者 通知対象者： 平成13年4月2日生～平成15年4月1日生	681 (1期接種済み者を除く)			
日本脳炎第2期	9歳～(特例対象者のみ)	—	276 (うち4人は依頼書により他市で接種)	—	
インフルエンザ	65歳以上の方	12,052	5,839	48.4%	
	60～64歳で身障内部疾患1級相当の方	45	12		

2 任意予防接種

(1) 子宮頸がん予防ワクチン等接種事業

平成23年1月から国の指針に基づき、子宮頸がん予防（HPV）ワクチン、ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種を公費負担で実施した。

(単位：回)

種 類	対 象 者	延べ接種回数
子宮頸がん予防	中学1年生から高校1年生に相当する年齢の女性	2,116
ヒブ	生後2か月から5歳未満まで	1,940
小児用肺炎球菌	生後2か月から5歳未満まで	2,349

3 予防接種費用給付(助成)事業

(1) 任意BCG接種助成事業

基礎疾患を有するために生後6か月までにBCG接種をできなかった乳児が、生後6か月から満1歳未満の間に任意のBCG接種を受けた場合の費用助成を行った。

助成人数：3人

(2) 任意インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン接種費用助成事業

生後2か月以上5歳未満で、平成23年4月1日から12月31日までにヒブワクチンを接種した児童に1回8,022円を上限として、申請に基づき接種費用を助成した。

助成人数：22人（平成22年度の差額に対する助成者2人を含む）

延べ助成回数：30回

(3) 新型インフルエンザ予防接種費用給付事業

新型インフルエンザ予防接種対象者のうち生活保護世帯及び当該年度分の市民税非課税世帯の方に接種費用の給付を行った。

<給付実績> 平成24年3月末までに交付決定された人数

1回目接種	3人
2回目接種	1人

4 結核予防対策事業

(1) 結核検診

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査(間接撮影)を肺がん検診と同時に市内9会場(6日間)で実施した。

実施月	実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果				未 受 診
				異常なし	結核	肺がん	その他	
9～10月	12回	824人	9人	1人	0人	0人	8人	0人

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

① 成人保健事業費（健康推進課）

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分のからだに適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）

イ 受診者数 405人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、7月11日から10月31日までの間、個別医療機関において健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、必要者には心電図

イ 受診状況

	受診者数
生活保護受給者	40 人
国保異動者 (国保会計負担)	49 人

(3) 長寿(後期高齢者)健康診査

後期高齢者医療対象の方について、個別医療機関において、7月11日から10月31日までの間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診者数 2,214人

2 がん検診事業など

(1) 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて10日間実施した。受診率を向上させるため、平成21年度から午後の胃がん検診を開始し、また、乳がん検診と同時に受診できる枠を設けるなどの工夫をした。全日、大腸がん検診とも同時実施している。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃がん	他病	不明	
819人	707人	112人	13.7%	11人	0人	93人	0人	8人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

(ア) 西暦で偶数年（和暦、昭和は奇数年・平成は偶数年）生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した（実績には無料クーポン券対象の受診者も含む。）。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	子宮がん	異形成	他病	不明	
1,444人	1,424人	20人	1.4%	1人	0人	3人	3人	0人	13人

(イ) 女性特有のがん検診推進事業

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の対象者に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
1,877人	550人	29.3%

※受診者数は再掲

イ 子宮体がん検診

子宮頸がん検診の受診者のうち、ハイリスク者及び医師が必要と認める方を対象に実施した。

受診者数	異常なし	判定不能	要精検者数	要精検率	精 検 結 果			精 検 未 受 診
					異常なし	子宮体がん	他病	
227人	217人	6人	4人	1.8%	2人	0人	1人	1人

(3) 乳がん検診

ア 医師による視触診とマンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）により、40歳以上の西暦で奇数年生まれの女性を対象に、保健センターにおいて17日間実施した。

また、保健師により「自己触診法」の健康教育と「私の健康記録」の配布を同時に行った。

（実績及び検診日数には、女性特有のがん検診推進事業も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精 検 未 受 診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
1,196人	1,112人	84人	7.0%	29人	5人	0人	13人	11人	20人	1人	2人	3人

イ 女性特有のがん検診推進事業

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の対象者に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
1,894 人	554 人	29.3 %

※受診者数は再掲

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内9会場（6日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	経過観察	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精検未受診
					異常なし	肺がん	肺がんの疑い	他 病	不 明	
1,288人	1,259人	41人	28人	2.2%	10人	0人	1人	11人	3人	3人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
43人	43人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。

保健センターにおける集団方式は、胃がん検診と同時に10日間行った。個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において、7月11日から10月31日までの間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 便潜血陽性	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
305 人	287 人	18 人	5.9 %	9 人	1 人	6 人	0 人	2 人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 便潜血陽性	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
3,914 人	3,618 人	296 人	7.6 %	53 人	10 人	135 人	0 人	98 人

ウ がん検診推進事業

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の対象者に「大腸がん検診手帳」と「大腸がん検診無料クーポン付き受診券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
3,640 人	506 人	13.9 %

※受診者数は再掲

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に、乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、7月11日から10月31日までの間、P S A値測定（前立腺特異抗原検査）を実施した。（ ）内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	がん	肥大	他病	不明	
1,982 人 (1,074 人)	1,838 人	144 人	7.3 %	20 人	23 人	63 人	5 人	1 人	32 人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる方を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、7月11日から10月31日までの間、C型及びB型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検受診者	精検受診率	未受診者
C 型	253 人	253 人	0 人	—	0 人	—	0 人
B 型	253 人	252 人	1 人	0.4 %	0 人	—	1 人

2 健康教育

(1) ヘルスセミナー栄養講座（コレ捨て編）

コレステロール高値者のための実践講座として、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。また、自分の食事を振り返るための調理実習も行った。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
5 回	26 人	83 人

ヘルスセミナー栄養講座（糖尿病編）

男性のための健康力アップ(糖尿病編)実践講座として、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
2 回	9 人	15 人

(2) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や管理栄養士が出向き、健康づくり講座を実施した。内容は、『健診結果活用術』、『高いと危険？コレステロール編』、『高いと危険？血糖編』など、八つのテーマから選択してもらい、各団体の希望に添って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
19 団体	55 回	529 人

(3) 歯のひろば

市民を対象に、京都府歯科医師会乙訓支部との共催で実施した。

ア 内 容 歯科健診、歯科医師との個人相談、歯科衛生士によるブラッシング指導、体験コーナー（口臭チェック、咬合力テスト）、骨強度チェック、血管年齢チェック、健康教育（パネル展示）を実施した。食育推進の一環として、食育コーナーを実施した。

イ 実 施 日 6月11日（土）

ウ 来 所 者 数 176人

3 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に、健診結果を活用した生活習慣改善を支援するため、保健センターにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じて健康手帳やパンフレットを配布した。

ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	保健相談
6回	37人	27人	29人

イ 30歳代の健康診査結果説明会(指定日が都合のつかない人には、別の日に個別で実施した。)

実施回数	参加者数
4回	166人

(2) 各種健（検）診等あらゆる機会を捉えて、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
80回	1,475人

4 訪問指導

保健師、看護師、管理栄養士による訪問指導を実施した。がん検診の結果説明訪問や健診後の要指導者に対する訪問を行った。

	要指導者等	個別健康教育	閉じこもり予防	寝たきり	認知症者	介護家族	その他	計
実人員	96人	5人	1人	0人	0人	1人	5人	108人
延べ人員	104人	8人	3人	0人	0人	3人	6人	124人

5 健康手帳の配布

市民の自覚的な健康づくりに役立ててもらえるよう、各種健（検）診の記録や正しい食生活に関する資料、身近な健康づくり情報を盛り込んだ「私の健康記録」を作成し配布した。

配布数：541冊

6 その他の健康づくり

チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から開始している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングに継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

新規登録者	48人
延べ認定者数	61人

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

① 母子保健事業費（健康推進課）

1 乳幼児健康診査

乳児前期健康診査、乳児後期健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施した。

健診内容は、内科及び歯科健診（1歳6か月児、3歳児）による疾病のチェック及び発達観察、保健、栄養、歯科指導等であった。

3歳児健康診査では、視力検査、尿検査も実施している。

	実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果			
				異常なし	要精検 要注意	未実施	
乳児前期健康診査	18回	433人	441人	256人	185人	0人	
乳児後期健康診査	12	495	499	297	202	0	
1歳6か月児 健康診査	一般	12	494	472	268	204	0
	歯科	12	494	472	383	87	2
3歳児健康診査	一般	12	502	473	278	195	0
	歯科	12	502	473	302	169	2
	視覚	12	502	473	424	49	0
	聴覚	12	502	473	469	4	0

2 3歳児健康診査精密検査

項目	精密検査対象者 (率)	受診者	受診結果		
			異常なし	経過観察	要治療
耳鼻科	3人 0.6 (%)	1人	1人	0人	0人
眼科	31 6.5 (%)	24	3	19	2
検尿	19 4.0 (%)	13	8	5	0
その他の所見	3 0.6 (%)	3	2	1	0

3 妊婦健康診査

平成9年度から母子保健法の改正により、市が実施主体となり実施した。平成20年度から回数を5回に拡充し、平成21年度からは京都、大阪府内産婦人科医療機関及び京都府内助産所に委託し、14回に拡充して実施した。平成23年1月からHTLV-1抗体検査を追加、平成23年4月からクラミジア検査を追加して実施した。

(単位：人)

	受診者数	健 診 結 果			
		異常なし	要指導	要精検	要医療
基本健診（1～14回） 問診、診察、体重及び血圧測定、尿検査、保健指導	延べ 5,404	5,116	174	6	108
前期血液検査（貧血、血糖）	延べ 459	447	5	1	6
血液型	延べ 440				
中期血液検査（貧血、血糖）	433	358	31	2	42
後期血液検査（貧血）	372	316	18	0	38
血液検査（免疫検査）	459	456	3	0	0
B群溶血性レンサ球菌検査	422	405	8	0	9
H I V抗体価検査	460				
超音波検査（1～4回）	延べ 1,728	1,674	27	3	24
H T L V - 1抗体検査	466	464	2	0	0
クラミジア検査	460	454	2	0	4

	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患
子宮頸がん検査（細胞診）	430	429	1	0

○ 妊婦健康診査助成制度

平成20年度から、委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 56人（実人数）

内訳 平成22年度の健診一部助成人数 延べ22人

平成23年度の健診一部助成人数 延べ38人

4 健康教育

(1) マタニティスクール

妊婦（配偶者も含む。）を対象に、保健師、助産師、看護師、栄養士による教室を実施した。

実施回数	延べ対象者数	延べ受講者数	受講率
20回 (全4回 5クール)	2,735人	350人	12.8%
	うち初妊婦 1,345	うち初妊婦 198	うち初妊婦 14.7%
	実人数 547	うち夫 12	
	うち初妊婦 269		

※ 第2回目をマタニティクッキングとし、向日市食生活改善推進員協議会と共催で実施した。

(2) 離乳教室

離乳食の必要性や実際の与え方、進め方等について、講話や試食を実施した。

実施回数	対 象	対象者数	受講者数	受講率
12回	生後4～5か月児の保護者	504人	279人	55.4%

(3) たんぽぽくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家、保健師、子育てセンター保育士でグループ指導を実施した。

	回数	来所児数	同伴兄弟	保護者数	結果（実数）	
					ポニーの学校へ紹介	発達相談・ことばの相談等で継続
前期	6回	79人	17人	82人	0人	7人
後期	6	122	32	129	5	17

(4) ぴよんちゃんくらぶ及び一時保育への相談員派遣

たんぽぽくらぶ参加者を対象にぴよんちゃんくらぶ（子育て支援センターさくらで実施）に、児童心理の専門家を派遣した。また、第1保育所で実施する一時保育事業に児童心理の専門家を派遣した。

回数	来所児数	保護者数
21回	205人	152人

(5) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯の虫歯予防のみならず、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

○ 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来所率	1回平均来所児数
5回	457人	368人	80.5%	73.6人

○ 歯科健診結果

虫歯保有者	虫歯保有率	総虫歯本数
24人	6.5%	85本

(6) 1歳児教室

乳児後期健康診査で、運動発達、精神発達の援助を必要とする児を対象に、保健師、子育てセンターの保育士でグループ指導を実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
6回	84人	69人	82.1%

(7) 2歳児教室

主に1歳9か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室を実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
9回	86人	71人	82.6%

(8) リフレの会（リフレッシュ教室のOB会）

子育てに悩みや不安を抱えたり、ストレスをため込んでいる子育て中の母親を対象に、心のリフレッシュを図り、子育てを支援する講座を実施した。

実施回数	来所者数	子ども数
3回	61人	23人

(9) ほっこり教室（育児支援教室）

孤独感があり、子育てに悩みや不安を抱えている子育て中の母親を対象に、子育て支援教室講座を実施した。

実施回数	来所者数	子ども数
9回	79人	93人

(10) ブックスタート

平成23年8月から乳児後期健診時に絵本の読み聞かせを実施し、ブックスタートパック（絵本2冊、コットンバッグ、図書館や絵本、子育て支援情報等のリーフレット、イラストアドバイス集、ポストカード）を配布した。

実施回数	来所者数	配布数
10回	540人	1,080冊

5 健康相談

(1) 健康相談、栄養相談

実施回数	来所児数			1回平均 来所児数
	乳児	幼児	計	
20回	425人	484人	909人	45.5人

(2) 発達相談、ことばの相談

発達相談は昭和43年から、ことばの相談は昭和51年から開設し、家庭訪問、健診、相談等から発見された児童の事後指導として実施した。

	相談回数	（来所 実所 人 数 ） 数	（来所 延べ 人 数 ） 数	相談結果				他機関への紹介		
				継 続	助 言 に よ り 改 善	（打 出 含 切 む ） り	就 学	ポ ニ ー の 学 校 へ	教 こ と ば 室 ・ き こ え へ	医 療 機 関 へ
発達相談	114回	126人	168人	86人	11人	1人	28人	4人	1人	3人
ことばの相談	15回	25人	31人	9人	5人	8人	3人	0人	0人	2人

6 家庭訪問

保健師、助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

○ 訪問者数 (単位：人)

妊婦	産婦	新生児	乳児	心身障がい児	電話訪問	その他	合計
2	455	9	446	113	481	43	1,549

- 里帰り訪問を平成9年度から実施 20人 (再掲)
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数 435人 (再掲)
- 養育支援家庭訪問事業 延べ人数 208人 (再掲)

7 その他

(1) 2歳6か月児アンケート

2歳6か月児歯の健康教室の案内通知時に、児童の発達、育児に関するアンケートを同封した。アンケートは、教室への来所時に回収した。アンケートの結果、必要者には、地区担当保健師が電話等で育児相談や精密検査の受診勧奨などを行った。

通知数	回収数	回収率	結 果					
			異常なし	要 フ オ ロ ー				
				電話相談	経過観察	要精検	連絡とれず	その他乳児訪問等
457通	368通	80.5%	280人	1人	77人	1人	1人	8人

(2) 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で療育を必要とする子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数		小 計	継続通園児数		小 計	合 計	合計	
4月	週1回	7人	7人	週1回	23人	29人	週1回	30人	36人
	月1回	0		月1回	6		月1回	6	
7月	週1回	0	0	週1回	31	37	週1回	31	37
	月1回	0		月1回	6		月1回	6	
10月	週1回	0	1	週1回	29	35	週1回	29	36
	月1回	1		月1回	6		月1回	7	
1月	週1回	0	1	週1回	28	34	週1回	28	35
	月1回	1		月1回	6		月1回	7	

(3) 母子健康手帳の交付、マタニティマークの配布

母子保健法の改正により、平成4年4月から母子健康手帳を市民課で交付した。あわせて平成20年度から、マタニティマークを配布した。

交付件数 479件

(4) 市庁舎及びゆめパレアの駐車場に、マタニティマーク入り妊産婦優先駐車場の看板を設置した。

8 不妊治療助成事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、向日市不妊治療助成事業実施要綱に基づき、平成15年10月1日から実施している。平成23年4月から人工授精による治療にも助成し、対象と助成額の拡充を図った。（保険適応のみの場合は6万円。人工授精を含む場合は10万円）

助成者数 延べ75人（うち人工授精による治療助成者 18人）

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

① 健康増進施設管理運営費（健康推進課）

市民の主体的な健康づくりと介護予防を推進するため、平成15年5月に向日市健康増進センターを開設した。平成18年度から指定管理者制度を導入し、向日市健康増進センターと向日市民温水プールを一体的に管理しており、平成23年度から5年間の指定管理者に（株）オージースポーツを指定している。

指定管理料 : 32,279,000円

1 市民温水プール利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

1.5時間までの利用者数	73,250人	（月平均 6,104人）
1.5時間以上の利用者数	4,611人	（月平均 384人）
無料券及びピロティ利用者数	3,367人	（月平均 281人）
水中ウォーキング（8月は休講）	320人	（月平均 29人）
スイミングスクール延べ利用者数（8月は休講）	44,173人	（月平均 4,016人）
市民温水プール利用者数合計	125,721人	

(2) 営業日数 309日

2 健康増進センター利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

定期利用会員	138,740人	（月平均 11,562人）
うち市内	78,611人	（56.7%）
都度利用者	6,310人	（月平均 526人）
うち市内	2,167人	（34.3%）
健康増進センター利用者数合計	145,050人	（月平均 12,088人）
うち市内	80,778人	（55.7%）

(2) 営業日数 332日

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

① 環境政策事業費（環境政策課）

市民の理解と協力により、暮らしの周辺の環境美化対策を推進し、清潔で美しいまちづくりに努めた。

1 環境基本計画の推進

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す「向日市環境基本計画」に基づき、環境保全施策を推進した。

(1) 「ノーレジ袋・マイバッグ運動デー」

市民のごみの減量や省資源・省エネルギーに対する意識を高めるため、毎月10・20・30日を「ノーレジ袋・マイバッグ運動デー」とし、30日には街頭啓発を実施した。

(2) 向日市エコ地域推進委員会議

- ・向日市環境基本計画に基づき、環境保全活動を計画的かつ持続的に推進するため、会議を開催した。
- ・グリーンカーテンや生ごみ堆肥化に取り組み、向日市まつりにおいて啓発展示を行った。
- ・年間4回開催

(3) ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦

ごみのないきれいなまちを目指して、市民、団体、事業所、市などが一体となって「ごみ拾い・清掃」を実施した。

- ・開催日：5月29日（日） / 11月27日（日）
- ・参加人数：70団体 2,117人 / 78団体 2,653人

2 新向日市環境基本計画の策定

第1次計画策定後10年が経過し、平成24年3月をもって計画期間が終了することから、今後の低炭素社会の実現に向けて、新しい環境課題に的確に対応するため環境保全施策に関する基本的な方向性を示す新たな環境基本計画の策定作業を行った。

3 狂犬病予防対策の実施

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

- | | | |
|-----------------|----------------------|----------------|
| (1) 狂犬病予防集合注射期間 | 平成23年4月26日（火）～28日（木） | 227頭（集合注射実施頭数） |
| (2) 予防注射頭数 | 1,721頭 | |

4 ふん害対策の実施

マナーの向上を呼びかける看板の設置、配布等を行った。

5 蜂駆除用防護服の貸出支援

ご自身で蜂を駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、蜂防護服を貸し出した。
（貸出件数 8件）

6 空き地雑草除去対策

空き地の管理についての指導及び環境美化対策の啓発等を積極的に推進した。

(指導件数 15件)

7 不法投棄対策

(1) 職員による日々の巡回パトロールを実施した(通年。平日の午後)。

(2) 職員による定期的な夜間パトロールを実施した(通年。平日の夜間)。

(3) 環境整備員による日々の分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した(通年。平日の午後)。

(4) 不法投棄等監視強化パトロール及びまちを美しくする啓発事業(緊急雇用創出事業)を推進した。

・地デジ化に伴い廃棄されるテレビ等の不法投棄を防ぐため、監視パトロールを実施した(7月から3月まで。平日午後5時から7時まで)。

・清潔で美しいまちづくりと快適で住み良い生活環境の保全を図るため、ごみのポイ捨て防止や犬のふんを放置しないよう啓発活動を行った(7月から3月まで。平日午前7時から9時まで)。

(5) 立看板の設置等による啓発を行った。

8 ごみの減量と再資源化の推進

ごみの減量と資源の再利用を促進するため、次の事業を実施した。

(1) リサイクル「ひまわり市」の開催

家庭から出る不用品や家庭に眠る不用品の再使用を図るため、フリーマーケットを開催した。

ア 開催日 5月28日(土)(雨天のため中止)、9月25日(日)

イ 開催場所 向日市役所本館前駐車場

ウ 出店数 50店

(2) 生ごみ堆肥化容器購入費補助

ごみの減量と有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器を購入し設置する者に対して、購入費の一部を補助した。

年 度	23	22	21	20	19
補助世帯数	6件	6件	15件	22件	20件
補助金交付総額	33,000円	44,500円	96,600円	127,000円	144,300円

(3) 紙パックリサイクル事業の推進

ア 目的 ごみの減量及び資源の有効利用を図る。

イ 回収量 約2.8t

ウ 回収場所 20か所

市役所、公民館(中央、物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野)

コミュニティセンター(物集女、寺戸、鶏冠井、上植野、西向日)

保育所(5か所)、保健センター、老人福祉センター(桜の径、琴の橋)

(4) 廃食油回収活動支援事業の推進

廃食油回収活動を奨励し、ごみの減量を図るため、回収団体に対し、回収用容器及びのぼり旗を無償貸与した。平成23年度は11団体で合計2,856.3リットルを回収した。

(5) 生ごみ堆肥化実験事業（第2期）の推進

家庭での生ごみ堆肥化を促進し、ごみの減量化に対する意識の向上を目的として、モニターを公募し、5月上旬から12月上旬まで、生ごみ堆肥の作成及び堆肥による野菜の成育実験を実施した。実験の結果、重量、大きさ等において、化学肥料で成育した野菜よりも優れた結果を観測したほか、連作障害の抑制にも生ごみ堆肥の有効性が確認できた。

9 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

種 別 \ 年 度	23	22	21	20	19
大 気 汚 染	2	5	4	16	5
水 質 汚 濁	4	3	6	3	3
騒 音	4	6	4	9	1
振 動	0	0	1	0	0
悪 臭	3	5	11	0	4
そ の 他	3	7	4	0	1
計	16	26	30	28	14

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 平成23年5月1日（日）～9月30日（金）

注意報発令件数（乙訓地域） 1件

10 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別	届出数
騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出数	39
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	45
騒音規制法に基づく特定施設数	328
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	55
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	435

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別	届出数
振動規制法に基づく特定建設作業実施届出数	16
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	40
振動規制法に基づく特定施設数	262
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	23
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	107

11 調査・測定の実施状況

(1) 騒音・振動関係

ア 深夜営業騒音（カラオケ騒音）調査

平成23年7月29日（金） 午後10時～午前0時

調査実施店舗 39店

イ 環境騒音実態調査（24時間測定）

(7) 道路に面する地域

平成23年11月21日（月）～22日（火） 2地点

(イ) 一般地域

平成24年3月12日（月）～13日（火） 2地点

平成24年3月14日（水）～15日（木） 2地点

平成24年3月21日（水）～22日（木） 2地点

(ウ) 新幹線鉄道騒音等監視測定

平成23年10月11日（火）、12日（水）、17日（月）に京都府、2市1町合同で測定した。
なお、市内測定は10月11日（火）に2地点で実施した。

(2) 大気汚染関係

市内主要箇所における一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査

住宅地域②・商業地域・幹線道路沿線

平成23年6月22日（水）・6月23日（木） 午後1時30分～8時30分 合計8地点

(3) 水質汚濁関係

公共水域調査（河川、用水路）4河川／5地点

第1回 平成23年6月22日（水）

第2回 平成23年9月28日（水）

第3回 平成23年12月21日（水）

第4回 平成24年3月28日（水）

12 環境保全啓発事業の推進

・環境月間 平成23年6月1日（水）～30日（木）

・環境月間事業 公共施設内周辺清掃、リサイクル施設エコの森見学会

河川水質調査、大気汚染調査、カラオケ騒音調査、本のリサイクルデー

・向日市まつりにおいて、地球温暖化防止コーナー設置（11月19日・20日：向日町競輪場内）

・環境市民講座

グリーンカーテン講習会 平成23年4月15日（金）

親子でエコクッキング講習会 平成23年6月25日（土）

環境市民講座（ごみ減量） 平成24年2月15日（水）

生ごみ堆肥化講習会 平成24年3月29日（木）

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（環境政策課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、応分の負担をした。

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（環境政策課）

本市においては、市民1人当たり年間211kgのごみが、一般家庭から排出された。

これらのごみの収集は、可燃物を週2回、資源物（分別収集）月2回、粗大ごみや不燃物は随時実施し、市民の協力により、ごみの減量及び適正処理に努めた（収集量：乙訓環境衛生組合統計）。

1 ごみ等収集量

(1) 一般家庭ごみ (単位：t)

種 別	収 集 量
可 燃 物	10,344.1
分 別 収 集	985.7
不 燃 物	59.2
粗 大 ご み	114.4
合 計	11,503.4

(2) 事業系ごみ (単位：t)

種 別	収 集 量
可 燃 物	3,413.5
分 別 収 集	0.0
不 燃 物	0.0
粗 大 ご み	218.5
合 計	3,632.0

○有料ごみ

処 理 件 数	3,024件
手 数 料 総 額	5,421,400円

2 分別収集量（内訳）

分 類	収 集 量 (t)	率 (%)
空 カ ン	124.6	12.6
空 ビ ン	336.9	34.2
そ の 他 不 燃	259.7	26.4
ペ ッ ト ボ ト ル	80.9	8.2
そ の 他 プ ラ ス チ ッ ク	167.7	17.0
廃 乾 電 池	9.3	0.9
蛍 光 灯	6.6	0.7
合 計	985.7	100.0

3 ごみの出し方・分け方カレンダーの配布

ごみの減量化・再資源化、ごみの適正な出し方に関する啓発を行うことに加え、ごみ排出日をより分かりやすくするため、ごみの出し方・分け方カレンダーを作成し、約17,000枚を各家庭に配布した。

4 分別収集適正排出指導の徹底

分別収集を円滑に、より効率的に行うため、収集日等が遵守されていないステーションにおいて、定期的な昼夜巡回パトロールや立看板の設置を行うとともに、広報による啓発を実施するなど、マナーの向上に努めた。

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿処理費

① し尿収集費（環境政策課）

1 し尿くみとり

市民生活の衛生及び環境保全を図るため、委託業者により、し尿収集を行った。

くみとり	人頭制	144 戸	(年24回/戸)
戸数	計量制	55 か所	事業所等 279 回
くみとり量		388 kℓ	

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽

設置数	156 基
浄化槽汚泥収集量	271 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。